



# 勝ち取った！東北大会！

## 第3回東北クラブユース復興支援大会



日本クラブユース主催大会での、初の東北大会進出です！ただ実は、これはクラブユース最高峰の大会「クラブユース選手権」の東北大会に出場できなかったチームで、もう一度宮城県大会を争い出場権を得た大会です。つまり、「クラブユース選手権」からは、少しグレードが下がってしまう大会なのです……。ただ何にしても初の東北大会進出です。宮城県代表として、7月26日(土)～28日(月)岩手県空比高原グラウンドで戦ってきます。日頃の練習の成果を発揮し、彼らには思う存分楽しんで来て欲しいものです！

# 創刊のご挨拶

今月から「ジュニアユース(中学生)のアバンがわらばん」を毎月発行します。この件に関しては、前々からジュニアユース会員から要望がありました。「アバンがわらばん」はすべての会員に発行しているのですが、内容がどうしても小学生の記事が多かったですから…。ここはコーチも一発発起、頑張って、彼らの為にたくさんの思いが詰まったクラブ会報誌を作成したいと思えます。今回は、ジュニアユースの紹介がほとんどですが、小学生の会員、親御さんも興味を持てるよう、ジュニアユースの大きなテーマである「サッカーと学業の両立」「子ども達の成長のヒント」についての記事を盛り込んでいきたいと思えます。文章は多め、大人も楽しめる読みごたえのある記事を多く掲載していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！

# 新！アバンがわらばん ジュニアユース

2014年8月号



# 第28回アバンカップ(小学生の部) 今回も立派にお手伝いしました！



# 今までの大会のアバンカップ手伝いの様子です。次回は、皆でお手伝いできることを願っています！



ここ最近、受付はすべて小坂泰河くんが担当。もうベテランの域です

恒例となった、ジュニアユース選手によるアバンカップのお手伝い。毎回、一生懸命お手伝いしてくれています。正直な話「彼らにできるのはこれくらいかな」と考えていたコーチの期待以上の働きを毎回してくれています。特に「ジュニアユースの選手達を各チームに監督・コーチとして配置」というアイデアは大ヒット！小学生の子ども達は、タイムスケジュールを管理し、試合を盛り上げ、アドバイスしたり、遊び相手にまでなってくれる中学生のお兄ちゃんに大喜びです。ジュニアユース選手の皆さんは皆さんで、監督気分を味わい楽しんでいきます(優勝に導いた監督にはプレゼントをあげることもあります)。次回はすごい景品を用意する事を約束します)

ワクワク全！

# デザイン缶バッチ大賞



小学生に遠慮してが、今までジュニアユース選手からの「デザイン缶バッチ」の応募はありません。今回は、コーチお得意のジュニアユース選手全員、強制参加！何事も経験です。指名は次月の大賞の独占です！ちなみ左上の不気味なキャラクターは、コーチデザインのアバン伝説のキャラクター、「ゴヤーマン」です。

# 今月の大賞(仙台地区は受賞者ゼロ) 応募方法！



デザイン案をコーチに提出して下さい。採用されたデザインはアバン新・缶バッチとしてクラブで製作、プレゼントします！不明な点はコーチまで連絡下さい。

今回、第28回大会の同日、アバンジュニアユースが「東北クラブユース選手権の運営お手伝い」という大役を任せられアバンカップには参加できず、4名しかお手伝いできませんでした。そこでのエピソードを一つ紹介します。コーチも後から聞いた話ですが、中学3年生の小坂泰河くんが本情らしい働きをしていたそうです。そのことに感心し、チームに送る予定メールにその話をそえたところ、アバンジュニアの弟がいるジュニアユースの親御さんからこんなメールを頂きました。

<ジュニアユース保護者様からのメール>  
泰河君に感心した保護者の1人です。何が素晴らしいかと言うと、グラウンド内で観戦したい保護者の為に、ベンチを選び、設置していました。しかもあの暑いなか笑顔です。もちろん響君、善紀君、空輝君それぞれが一生懸命でした。何度か開催されたアバンカップの中で、子供たちも保護者も盛り上がった楽しい大会でした。ありがとうございました。でも、なかにはジュニアユースの子が少なくて淋しいと言う声もありましたよ。いつもありがとうございます。





# ジュニアユースOB集結!



<2期生・山田泰之介くんからのメール>

ご無沙汰しております。携帯電話を変えてアドレス変更の旨をご連絡していませんでした。拓弥からイベントの件を先程教えてもらいました。試合自体には膝、腰の怪我のせいで参加できませんが、2期生のみんなも来るという事ですので見学という形で参加させていただきたいと思っております。少々お話が変わりますが早いもので私も、もう高校3年生になりまして、新しい進路に向けて色々考えなければいけない時期ではありますが、未だにはっきりとした進路が見えてこない状況です。初め高卒自衛官か専門学校かを考えておりましたが、両親や学校の先生方から大反対を受けまして大喧嘩の毎日でした。面談等繰り返すうちに4年生大学への進学に折れる事になったものの特にやる気が出る訳でも無く怠惰な毎日を送っていて、恥ずかしい限りです。そこで今回のイベントで他の友人達から良い刺激をもらえたら良いなと、考え楽しみにしております。長文となってしまい申し訳ありません。土曜日にコーチにお会い出来ることを楽しみにしております。よろしくお願致します。



# コーチの一番楽しかった日。

ジュニアユースの東北大会に向け、強いチームと練習試合がしたいな〜と考えたコーチ。でも他の強豪クラブチームはクラブユース選手権の東北大会なんだよな〜。どうしよう。あつ、OBを呼べばいいや! 10人くらい集まればいいな〜。とりあえず連絡してみよう! おん! 29人も集まってしまった。OB戦、現チームはボロ負け。OB選手は交代交代であまりプレーができなくて申し訳なかった。参加者が多すぎて、今度は年代別に呼んだ方がいいなこりゃ。みんなありがとう。

自分のチームの試合が終わってすぐにかけつけた子もいました。連絡なしで突然やってきたけしからん子もいました。

ただ、きわめつけの行動にて選手を一人紹介します。

2期生の山田泰之介くん。

ジュニアユース時代から、クラシックとコーヒーをこよなく愛する変わった子でした。左のメールからも、将来どんな大人になるか楽しみ。底知れぬものを感じます。

彼は神奈川の高校に通っているのですが、接撃が終わった後、飛行機に飛び乗り、OB戦が終わった後、新幹線で軽やかに帰って行きました。もちろん自分の小遣いでです。さすがにコーチも「交通費くらい出させてよ」と申し出ましたが「いや、お世話になったチームなので」と断固拒否。その上、菓子折までもらってしまいました。他にもOB選手のエピソードがたくさん。

嬉しいやら可笑しいやら…。とっても楽しいひと時でした。

またみんな会いましょう。現ジュニアユースのみんなも、胸を張ってこのような会に参加できるように。悔いの無い中学生生活、ジュニアユースライフを!



## AVANZARE Sports 「アバンツァーレスポーツ」

放課後等デイサービスとは、小学生〜高校生までの発達に心配のある子供や障害を持つ子供を、学校の放課後や長期休暇中にお預かりし、生活能力の向上や訓練を行うものです。15年間のアバンツァーレで培ってきたスポーツ指導を活かし、地域社会に貢献していく心づもりです。



## ジュニアユース選手紹介!



サッカーをはじめたのは小学1か2年生。もちろんアバンです。といっても家の目の前の公園がアバン南仙台会場だったからです。はじめは知らない用語がたくさんで、大変でした。選手コースに入ったのは確か2年生の終わり頃。源崎コーチに声をかけられたのがきっかけですが、当のコーチ自身はまったく覚えていないようです。

一番記憶に残っているのが、練習だったリフティング。50回達成するのに半年かかりました。もう一つ印象に残っているのが、2Q先輩のレベルの高さです。恐いくらいうまかったです。僕達ジュニアユースは、うまいけど弱い。ただ、確実に強くなっています。観て、やって楽しいサッカーをやりたい。それでいて結果も出していきたい。ジュニアユースでの最大の目標は、最後までやりとげ、チーム全員が「アバンで良かった」と思えること。将来の夢は、サッカーにはどんな形でもずっと関わってほしいことと、何がでつかいことをやりとげたい。具体的には決まっていなくても…。受験については今のジュニアユースの取り組みに、少しプラスアルファするだけでいいと思う。妙な自信がある。後回しにするタイプだと自覚しているので、せめて勉強

だけでもはやめ、はやめに取り組むことを意識している。尊敬する人は、4期生キャプテンの平瀬太さん。「練習は試合のように」に「まだまだアバンのサッカーを楽しんでいきたいです。」

## ジュニアユースの活動予告!

日時: 平成26年8月31日(日) 10:30~15:30  
場所: 宮城県障害者福祉センター・体育館  
活動内容: 障害をもつ子ども達を対象とした、サッカーボールを使った運動やゲーム進行のお手伝い。



下記の手紙は、ジュニアユース1期生〜2期生が児童館対象のサッカー教室のお手伝いをやりとげ、児童館から頂いたお手紙です。コーチとしては、普段見せない、プロコーチとしてのすごさを見せつける目論見でしたが、予想以上の彼らの動きに、逆に感動させられたイベントでした。現ジュニアユースの選手には、上記の活動で先輩を超える取り組みを期待しています。

梅雨明けが待たれる今日この頃、先日は中田児童館行事にご協力頂き、本当にありがとうございました。行事の内容も大変すばらしいものになりました。子ども達の心をつかみ、集中を切らさずに最後まで楽しく教えて下さったコーチの指導は本当に素晴らしかったです。また、ジュニアユースの皆さんの態度の良さや優しさにも感謝し、日頃の指導あつてのことと思いました。

恥ずかしながら身に全部を使ってパフォーマンスしてくれた岳くん。常に大きな声を出して盛り上げてくれた星川くん。小さい1年生やできない子によく声をかけてくれた英理くん。3、4年生のなまじきな子の言葉にも笑顔で対応してくれた尾川くんや大地くん。嫌な顔一つせず、みんながよく動き、よく声を出してくれました。実は参加していた小学生の中に、集団行動が苦手で、体力的にも心配な子が何人おりました。「疲れたあ」という声はきかれましたが、最後まで参加し、集合写真にもいい笑顔で写っています。コーチの気持ちの入った言葉がけに、小学生は笑ったり、喜んで、真剣にボールを追い、ジュニアユースの皆さんに励まされたのだと思います。どの子にとっても楽しく充実したサッカー体験だったと思いますし、もっとうまくなりたいたいと話していた子も何人がいたので、次につながる活動になったと思います。

私自身は、アバンツァーレとサッカーのすばらしさを改めて感じました。忙しい中、準備や指導して下さったコーチの方々、そしてジュニアユースの皆さんに、くれぐれもよろしくお伝え下さい。暑さ厳しい折、どうぞご自愛下さい。まずはおれまでに。



## かわらばん編集後記

今回、「ジュニアユースかわらばん」を創刊するにあたって、アバンの者の写真を振り出して、眺める機会をもちました。なかなかレアな写真が多く、すぐに夢中になり、仕事がなかなか進みませんでした。者のエピソードならごまんとあるので、当分、ネタには困りそうはないです。



年長 → 小6 → 中3 こんな写真がいっぱい!  
※12年在籍したミスターアバン。4期生・山崎友介くん